

令和元年度  
大阪府後発医薬品安心使用促進事業

# 令和元年度 後発医薬品安心使用促進事業

## 患者・医師へのジェネリック安心使用プロジェクト

### ☆平成30年度モデル事業（門真市・泉南地域）の府内全域への展開

- ✓ GEに関する患者への丁寧な説明 ⇒ 患者の理解 «使用促進»
  - 品質、経済、製剤工夫など、様々な観点の説明パネル作成・全薬局への配布
- ✓ GE調剤後、飲み心地など服薬状況の確認 ⇒ お薬手帳に記載

医師へ情報伝達

+ 令和元年度の新規モデル事業として

#### 【岸和田市】

- ✓ GE調剤後、飲み心地など服薬状況の確認するとともに、患者自身が使用の状況や満足度を  
お薬手帳に記入し、医師・歯科医師にみせるという、患者から医師への伝達ツールとしての活用
  - お薬手帳の活用に着目したモデル事業を実施

医師への情報伝達

+

患者自身が参画する事業

#### 【八尾市】

- ✓ 後発品医薬品を適正に使用するための方策の検討
  - 地域懇話会の開催
- ✓ 品目リスト、フォーミュラ作成促進等

## 患者が選んだジェネリック見える化プロジェクト

- ✓ 平成30年度モデル事業（門真市・泉南地域）を実施した期間に患者が使用したGEリストを作成
- ✓ ジェネリック医薬品を選択した理由（患者視点）を記載予定

# 1. 患者・医師へのジェネリック安心 使用プロジェクト

## 平成30年度モデル事業の水平展開の進捗状況

モデル事業：調剤の現場で～薬剤師からGEの丁寧な説明と調剤後の服薬状況の確認～

### 【薬局における取組内容】

- ①薬局薬剤師が患者に対し、ジェネリック医薬品について丁寧な説明を行う
- ②変更後は、お薬手帳貼付用シールにジェネリック医薬品名と先発医薬品名を記載し、患者が説明に同意した理由にチェックをいれ、お薬手帳に貼付する
- ③必要に応じて、調剤後に服薬状況の確認をする

- ジェネリック医薬品の使用促進について（協力依頼）の通知を全薬局あてに送付
  - ・ 薬局用説明資材
  - ・ お薬手帳貼付シール
- 薬剤師会57支部における研修 及び 大阪府と府薬剤師会の共催で薬事講習会の開催

ジェネリック医薬品に変更した処方箋枚数を集計  
(令和元年10月上旬と令和2年2月の2回集計予定)

# 平成30年度モデル事業の水平展開の進捗状況

## 大阪府薬事講習会

目的	平成30年度の取組みを薬局薬剤師に周知し、説明用資材の使い方や昨年度の活動報告により各薬局における取組みの推進につなげる。
対象	府内薬局の全薬剤師を対象とし、会場の都合上800人を上限とした
日時場所	令和元年8月3日（土）午後2時00分～午後4時30分 エル・シアター（大阪府中央区北浜東3番14号 エルおおさか2階）
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大阪府後発医薬品使用促進事業について（大阪府薬務課）</li> <li>2 平成30年度後発医薬品安心使用促進事業に関する活動報告（門真市薬剤師会 沼田先生）</li> <li>3 平成30年度大阪府後発医薬品安心使用促進事業報告（泉南薬剤師会 梅田先生）</li> <li>4 ジェネリック医薬品に関する調査報告（大阪薬科大学 社会薬学・薬局管理学的研究室 恩田教授）</li> <li>5 大阪府の薬務行政と最近の話題（大阪府薬務課）</li> </ol>

大阪薬科大学恩田教授とモデル地域の先生方に講師をしていただき、実際の体験を伝える

# 平成30年度モデル事業の水平展開の進捗状況

○ 大阪府薬事講習会（参加者：775名 アンケート回収数：548 回収率：70.70%）  
アンケート集計結果

<p>①「大阪府後発医薬品使用促進事業」取組の意図を理解できた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5大変そう思う</li> <li>■ 4そう思う</li> <li>■ 3どちらでもない</li> <li>■ 2そう思わない</li> <li>■ 1全く思わない</li> </ul>	<p>② 勤務する薬局でも、同様の取組みができると感じた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5大変そう思う</li> <li>■ 4そう思う</li> <li>■ 3どちらでもない</li> <li>■ 2そう思わない</li> <li>■ 1全く思わない</li> </ul>
<p>③ 今後勤務する薬局で、後発医薬品の使用を促進していきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5大変そう思う</li> <li>■ 4そう思う</li> <li>■ 3どちらでもない</li> <li>■ 2そう思わない</li> <li>■ 1全く思わない</li> </ul>	

# 平成30年度モデル事業の水平展開の進捗状況

## 薬事講習会 アンケート

大塚内服薬調剤院アンケート

お忙しい中にもかかわらずご協力いただき、誠にありがとうございます。アンケートにお答えいただいた結果、今後の活動に活用させていただきます。

※ 以下のアンケートは、平成30年度モデル事業のアンケートです。

質問	1	2	3	4	5
1. 「ジェネリック医薬品は品質が劣る」というイメージを払拭するために、薬剤師はどのような説明を行っていますか。	1	2	3	4	5
2. 薬剤師が説明する際に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。	1	2	3	4	5
3. 今後の活動に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。	1	2	3	4	5

※ 今後の活動に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。

□ 薬剤師 □ 薬剤師 □ 薬剤師 □ 薬剤師

※ 今後の活動に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。

アンケート結果の集計表

質問	1	2	3	4	5
1. 「ジェネリック医薬品は品質が劣る」というイメージを払拭するために、薬剤師はどのような説明を行っていますか。	1	2	3	4	5
2. 薬剤師が説明する際に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。	1	2	3	4	5
3. 今後の活動に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。	1	2	3	4	5

※ 今後の活動に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。

□ 薬剤師 □ 薬剤師 □ 薬剤師 □ 薬剤師

※ 今後の活動に、どのような資料やツールが効果的だと感じましたか。

## モデル事業（岸和田市）の取り組み

### 薬局薬剤師の取り組み～薬局薬剤師の丁寧な説明～

#### GEの説明用資材を用いて、丁寧に説明

- ジェネリック医薬品に疑問や不安を抱える患者に対し、説明用パネル（3種類）を活用し、正しい理解につながるよう患者によりそった丁寧な説明を行う。



#### ジェネリック医薬品調剤後の服薬状況の確認

- 調剤後患者へフォローアップすることにより、安心使用につながることを昨年度のモデル事業で実証されたため、一定期間後に電話連絡や、次回来局時といった際にフォローアップを行うことを引き続き実施。

#### お薬手帳を活用した三師会の情報共有

- 切り替えたジェネリック医薬品の情報や患者に対し説明した内容等をお薬手帳に記載し、医師・歯科医師へのフィードバックを行う。
- お薬手帳に患者自身が服薬状況を記録することで、患者も医療に参画する意識づけをする

#### 地域三師会の連携

- 地域において、三師会が連携し、ジェネリック医薬品の使用促進や、お薬手帳の活用に取り組んでいることをポスターを活用し周知
- 岸和田市民病院の医師に対し、協力依頼（府から通知発出予定）

## モデル事業（岸和田市）の取組み

後発医薬品に変更後の  
フォローアップ調査表

症例ごとに1枚記載  
 ✓服薬状況確認項目  
 ✓切り替えた医薬品と  
薬価等記載  
 ✓患者が納得した説明

薬師名 \_\_\_\_\_ 薬師 \_\_\_\_\_

後発医薬品に変更後のフォローアップ調査票

年齢 (男・女) \_\_\_\_\_ 建設日 年 月 日  
後発医薬品変更日 年 月 日

・確認相手  
 本人  家族  その他 ( )

・後発医薬品変更後、体調変化の有無  
 有  無  
 有の場合、具体的な内容 ( )

・飲み方、不安に思うこと等の説明の有無  
 有  無  
 有の場合、具体的な内容 ( )

・次回診察時にヒアリングした内容について  
 安心して服用できているので後発品の服用を続けたい  
 先発品に戻したい  
 その他 ( )

・先発から後発医薬品に変更したことによる制薬効果額

変 更 前			変 更 後		
実効品名(一般名)	薬価	合計額	ジェネリック名	薬価	合計額

変更前の総合計額 ( ) 変更後の総合計額 ( )

・変更したお薬の種類  
 慢性薬  短期薬

・薬剤師が説明した内容  
 先発と効果が同等であることについて  
 国民皆保険制度の維持について  
 支払額について  
 オフプライズドジェネリックについて  
 剤型の工夫について  
 私ならこちらを選びます

報告期間：18月分までとめて翌月13日まで 標準事務用紙(A4X23-0800)

## モデル事業（岸和田市）の取組み

お薬手帳貼付シール

今年度の新しい取組み  
「患者（家族）が記入！」

目的は、患者自身に  
 ⇒自分の薬を意識して  
 ⇒医療に参画する契機  
 にしたい

お薬手帳の活用改革！

ジェネリックに変更した医薬品

【薬剤名: \_\_\_\_\_ (先発名) \_\_\_\_\_】

薬剤師が説明した内容

- 先発と効果が同等であることについて
- 国民皆保険制度の維持について
- 支払額について
- オフプライズドジェネリックについて
- 剤型の工夫について
- 私ならこちらを選びます

本人記入欄 次回診察までに記入して医師に見せてください

- ・きちんと使えていますか？  
 はい  いいえ (理由 \_\_\_\_\_ )
- ・ジェネリックを使って気になることはありますか？  
 ない  ある (理由 \_\_\_\_\_ )
- ・次回もジェネリックを希望しますか？  
 はい  いいえ (理由 \_\_\_\_\_ )
- ・他の医療機関の薬を服用していますか？  
 はい  いいえ ( \_\_\_\_\_ )

# モデル事業（岸和田市）の取組み

周知用ポスター

## 令和元年度 ジェネリック医薬品安心使用促進事業

当薬局は、厚生労働省と大阪府が推進しているこの事業に協力しています。  
岸和田市では、医師・歯科医師・薬剤師が連携し、**患者様が安心してジェネリックを使用できるよう**様々な取組みを行っています。



～お薬手帳を提示してください～

薬局だけでなく、病院・診療所及び歯科医院でも、お薬手帳の提示をお願いいたします。

岸和田市薬剤師会・岸和田市医師会・岸和田市歯科医師会

患者の安心のために  
三師会が事業に連携している  
ことを伝えるポスター

岸和田市医師会  
岸和田市歯科医師会  
岸和田市薬剤師会

施設内に掲示用として  
全会員に配布済み

## 2. 患者が選んだジェネリック 見える化プロジェクト

# 平成30年度モデル事業（門真市・泉南地区）の取組みより

## モデル事業：調剤の現場で～薬剤師からGEの丁寧な説明と調剤後の服薬状況の確認～

- ① 患者に薬剤師がGEに変更する意志があるかを確認
- ② 希望する患者には、変更対象となるGEの製品特徴を丁寧に説明
- ③ どのような理由で患者がGEに変更することになったかをお薬手帳に記載



お薬手帳シール

【薬剤名： (先発名) ｝

・患者に説明した内容

- 先発と効果が同等であることの説明
- 国民皆保険制度の維持について説明
- 支払額の説明
- オーツライズドジェネリックであることの説明
- 錠剤が小さく飲みやすいことの説明
- 錠剤・シートごとに販売名が記載されていることの説明

医師への  
フィードバック

- ④ 1週間後をめぐり、患者さんに服薬状況の確認
- ⑤ 変更後のフォローアップ調査票を記載（資料参考）

## 事業成果：モデル地区でGEに切り替えた患者数と薬価の試算は ⑤のフォローアップ調査票を基に集計

### 【門真市】

対象患者数 130人（10月中旬～11月）  
 ※先発に戻してほしいと要望した患者 10.0%  
 薬価における年間切替効果額試算 約1,040万円

### 【泉南地区】

対象患者数 473人（9月～11月）  
 ※ほとんどの患者がGEを継続使用すると回答  
 薬価における年間切替効果額試算 約1,462万円

※泉南地域の取組みを府域全域で行った場合、薬価における年間切替効果額試算は約10億円  
 ※効果額は、先発医薬品から後発医薬品へ切り替えた薬価差の合計から算出  
 ※年間効果額試算は、事業期間に交付された処方箋を慢性疾患薬と短期薬に分類し、慢性疾患の患者が1年間薬の処方を受けたと想定して試算

# モデル地区（門真市・泉南地区）で実際に切り替えられたGE

## 事業成果：フォローアップ調査票の切り替えGEを基に、地域で変更されたGEを一覧に作成

フォローアップ表  
の一部抜粋

・先発から後発医薬品に変更したことによる削減効果額

変更前	変更後		
	薬価	数量	合計額
シメジック			

変更薬剤数  
 泉南：908  
 門真：165

○の箇所に記載されたGEを“効果効果”別に表とした。  
 ・患者が選んだ理由も併記  
 ・錠剤の写真も追記  
 ⇒別添資料参考

【降圧薬の場合】  
患者が選んだリストイメージ

使用回数が多かったGE（降圧薬）

C.I.（発売品）		参考：薬剤師が説明し、患者が選んだ主な理由
1	オルメサルタンOD錠「DSEP」 （オルメテックOD錠）	オーソライズドジェネリックであるため
2	カンデサルタン錠「EMEC」 （プロブレス錠）	支払額が減るため
3	アムロジピンOD錠「EMEC」 （アムロジンOD錠）	支払額が減るため

- ✓患者・医師・歯科医師・薬剤師に情報提供……安心して変更するきっかけに
- ✓積み重ねることで、地域実績表にも……汎用GEリストとなり地域フォーミュラの一步

# 3. その他

## 保険者との連携や府民啓発

### 保険者との連携

- 協会けんぽと連携し、府内の薬局に対し「ジェネリック医薬品に関するお知らせ～貴薬局の調剤状況について～」を送付予定

送付予定薬局数：3,680薬局

協会けんぽ加入者の処方者数9人以下（164薬局）等を除いた府内全薬局が対象

### 府民啓発

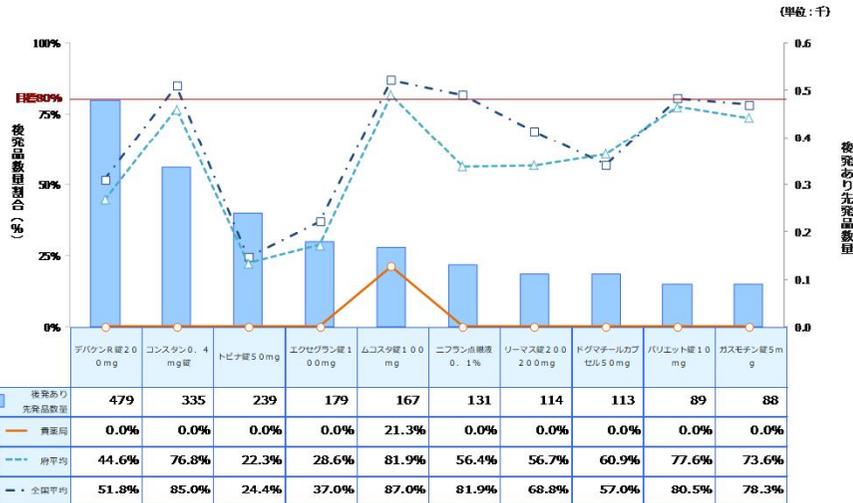
- 消費者フェア（大阪府主催）への出展  
11月2日（土）11：00～15：00 大阪府咲州庁舎1階 フェスパ

- 府民啓発用のチラシ作成



## 6. 貴薬局における後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品

後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品をお知らせします。  
 国目標80%に達していない医薬品は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



## ジェネリック医薬品に関するお知らせ ~貴薬局の調剤状況について~

郵便番号  
住所

〇〇薬局 御中

全国健康保険協会 大阪支部  
 〒550-8510  
 大阪市西区槻木町1-11-7  
 信濃橋三井ビル 6階  
 TEL: 06-7711-4300

全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営につきまして、平素より格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年6月の閣議決定において「2020年9月までにジェネリック医薬品（以下、後発品）の使用割合を80%以上とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」と定められました。

協会けんぽといたしましても、加入者の方のお薬代や保険料の負担軽減に繋がることから、後発品の普及促進の取組を積極的に進めています。この取組の一環として、協会けんぽ加入者の方のレセプトを集計し、地域における後発品使用割合等について、薬局様へ情報提供を行っております。後発品の取扱をご検討される際の参考資料として、ご活用いただければ幸いです。

## 1. 協会けんぽ加入者への調剤状況

「貴薬局」「二次医療圏」「府平均」の後発品にかかる調剤状況をお知らせします。



## 先発品から後発品に変更後、患者に副作用が発生した場合の責任は？

医師が先発医薬品を適正に処方し、変更不可欄に「レ」または「x」の印等のない処方箋について、薬剤師が適正に先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した場合には、仮にその医薬品により副作用被害が発生したとしても、医師や薬剤師にその副作用の責任が生じるものではありません。

適正に使用したにもかかわらず副作用による一定の健康被害が生じた際には、先発医薬品、ジェネリック医薬品のいずれの使用であっても、製造販売業者の社会的責任に基づく拠出金等を財源とした「医薬品等副作用被害救済制度<sup>(※)</sup>」の対象となり得ます。ジェネリック医薬品であるという理由で救済制度の対象から外れるということはありません。

※ 医薬品等副作用被害救済制度についてはPMDAのホームページをご覧ください。



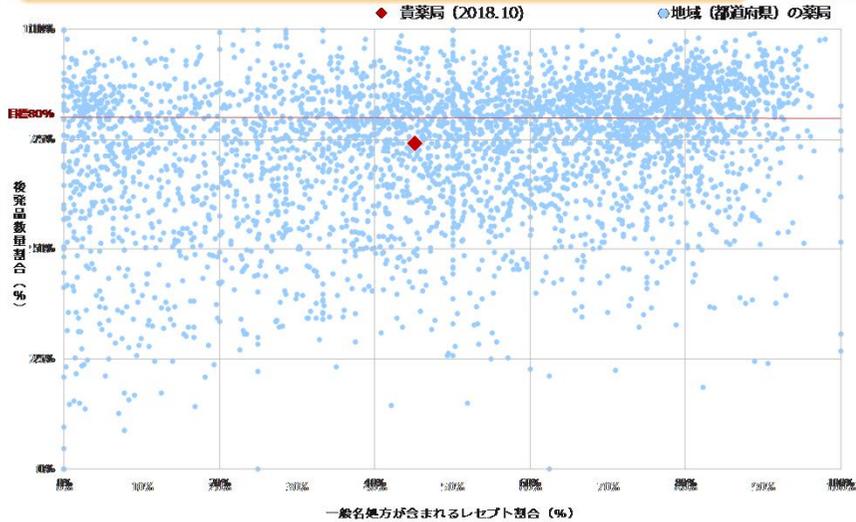
厚生労働省：「ジェネリック医薬品への疑問に答えます ~ジェネリック医薬品Q&A~」より

〇〇薬局		貴薬局	二次医療圏平均	府平均
人数	貴薬局にて調剤した協会けんぽの加入者数	256人	181人	178人
	後発品を調剤した加入者数	194人	133人	133人
	後発品を調剤した加入者割合	75.9%	73.5%	74.6%
数量	貴薬局の調剤数量	18,749	26,509	26,955
	後発品のある先発医薬品の調剤数量	2,990	4,823	4,743
	後発品の調剤数量	8,585	13,361	13,500
	後発品数量割合	74.2%	73.5%	74.0%
金額	貴薬局にて調剤した医薬品の薬剤金額	802,450円	1,320,466円	1,437,841円
	後発品の薬剤金額（10割）	171,064円	227,896円	242,055円
	後発品金額割合（10割）	21.3%	17.3%	16.8%

※本紙に掲載している情報は、協会けんぽ平成30年10月診療分の調剤レセプトにもとじて作成しています。

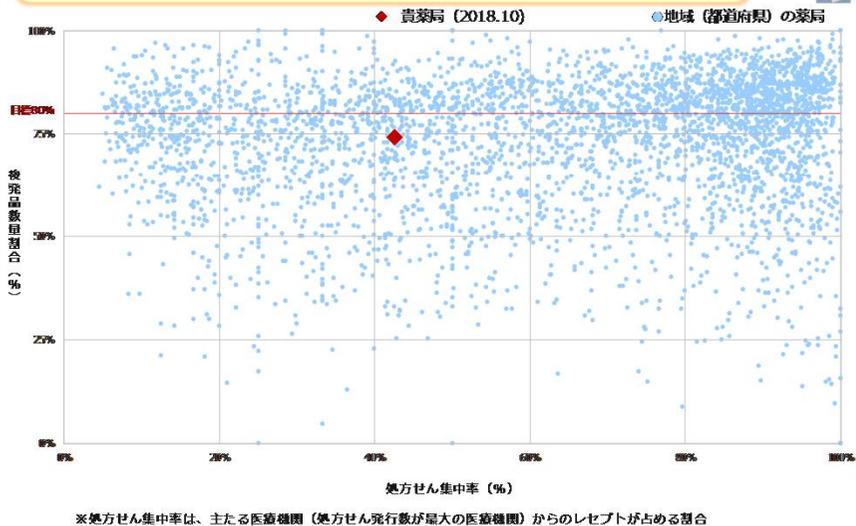
## 2. 後発品数量割合と一般名処方が含まれるレセプト割合による貴薬局の位置づけ

「後発品数量割合（縦軸）」と「一般名処方が含まれるレセプト割合（横軸）」をもとに、貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にさせていただくとともに、さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。



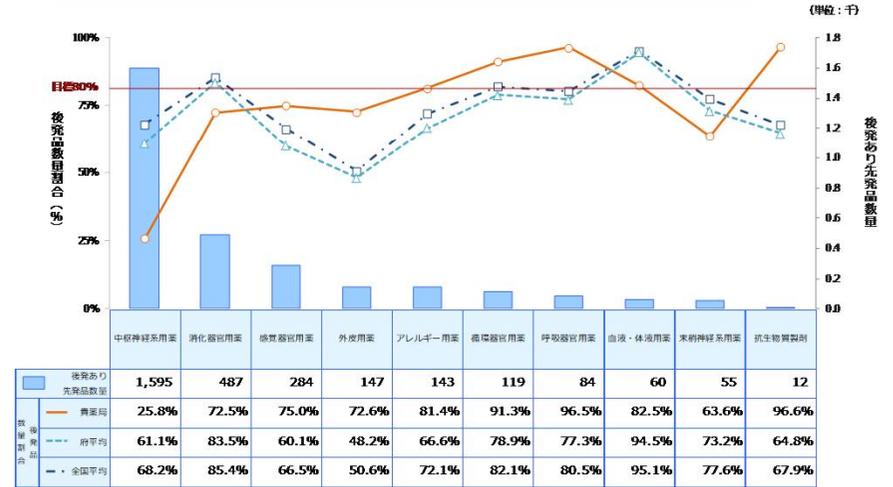
## 3. 後発品数量割合と処方せんの集中状況による貴薬局の位置づけ

「後発品数量割合（縦軸）」と「処方せん集中率（横軸）」をもとに、貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にさせていただくとともに、さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。



## 4. 貴薬局の薬効分類別後発品数量割合

貴薬局における「後発あり先発品」の数量が多い薬効分類上位10種をお知らせします。国目標80%に達していない薬効は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



## 5. 貴薬局の年齢別後発品数量割合

貴薬局における年齢別後発品数量割合をお知らせします。国目標80%に達していない年齢については、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。

